

科目	建築計画 (Architectural Design and Planning)		
担当教員	亀屋 恵三子 准教授		
対象学年等	都市工学科・5年・前期・必修・1単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	A4-S1(100%)	JABEE基準1(1)	(d)1.(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	建築物の設計を行うためには、そこで展開される人々の生活がうまく機能するような空間を計画することが必要である。本講義では、建築計画で用いる基礎的手法に加えて、各用途の建築物に関する計画論の概要を学ぶことで、建築設計に役立てるものである。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-S1】住宅、公共施設について、その計画手法の概要を理解し、建築士試験における「計画」分野の基礎知識を習得することを目標とする		建築に関わるスケールについて理解したかどうか、また住宅、医療福祉施設、学校について、その計画手法の概要を理解したかどうか、中間試験で評価する
2	【A4-S1】空間を構成するエレメントを理解し、建築のデザインについて理解する		空間を構成するエレメントを理解し、建築のデザインについて理解したかどうか、レポートで評価する
3	【A4-S1】空間デザインを創造し、わかりやすく発表・説明・討議できる。		自分で作成した空間デザインのコンセプトが形やプレゼンテーションにいかされているか、パワーポイントによるプレゼンテーションにより評価する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験50% レポート20% プレゼンテーション30% として評価する。100点満点とし60点以上を合格とする。中間試験のみを行う。		
テキスト	なし (随時プリントを配布する)		
参考書	「空間デザインの原点」、岡田光正 (理工学社) 「住まいを読む 現代日本住居論」、鈴木成文 (建築資料研究社) 「建築計画」、長澤泰 (市ヶ谷出版)		
関連科目	応用CAD		
履修上の注意事項			

